

- 鷺森で子ども報恩講□1
- 阿弥陀さまと私□2
- 新・祖蹟点描□3
- 御正忌報恩講特集□4
- 本山・教区・各組の動き□6
- つれもて聴こら□8



『紀伊国名所図会』に描かれる江戸時代後期の鷺森御坊

2015年(平成27年)  
1月1日  
第103号

発行:「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 TEL(073)422-4677 URL <http://saginomori.or.jp/>



# お寺を子どもの居場所に

特集4・5面「写真で綴る御正忌」「法要あれこれ」

御正忌報恩講に家族そろってのご参拝を



新春を「笑顔」と「元気」でスタート

昨年12月13日、鷺森別院本堂で恒例の少年連盟主催「子ども報恩講」が営まれた。今年は、教区内から200名を超える子ども達が集結し、本堂が熱気につつまれた。=6面に記事

# 阿彌陀さま

## ハウツー仏事と私

### ⑤お仏壇の脇掛

お仏壇の中央にご安置する阿彌陀如来のご本尊については本紙100号で取り上げましたが、今回はご本尊の左右にお掛けする「脇掛」について述べたいと思います。

脇掛には「絵像」と「名号」の2種類があり、ご本尊が阿彌陀如来の絵像の場合には脇掛も絵像を、ご本尊が南無阿彌陀仏の名号の場合には、脇掛も名号とするのが基本です。

絵像の場合は、お仏壇に向かって右側に親鸞聖人像、左側に蓮如上人像をお掛けします。これは、浄土真宗のみ教えを開かれた宗祖である親鸞聖人と、その教え



①はご本尊が阿彌陀如来絵像、②は六字名号の場合の基本的組み合わせ(名号は専如門主ご染筆のもの)

## ご本尊のお徳讃え働き伝える

を伝えるためにご苦労された、本願寺中興の祖といわれる第8代蓮如上人のお姿をお掛けする形です。

阿彌陀さまから見て左が

上席のため、向かって右に親鸞聖人像をお掛けするわけですが、よく拝見すると、親鸞聖人はやや右側を、蓮如上人はやや左側を向かれ、お二方がご本尊を拝しながら向かい合うような形になっています。

この絵像の形は、寺院の



絵像のご本尊に九字十字名号の脇掛を組み合わせたお仏壇(名号は即如門主ご染筆のもの)

光明によって衆生を救う如来を帰命します、心から信じ敬いますという意味で、「南無不可思議光如来」とは、思い量ることのできない光明によって衆生を救う

**ラジオ放送番組**  
**みほとけとともに**  
 - 西本願寺の時間 -

◆毎週土曜日 午前5時50分から  
 - 和歌山放送(WBS) -

|     |     |         |
|-----|-----|---------|
| 和歌山 | 串本  | 1431kHz |
| 田辺  | すさみ | 1233kHz |
| 橋本  | 高野山 | 1485kHz |
| 新宮  | 御坊  | 1557kHz |

世界を照らし尽くす無碍の「南無阿彌陀仏」とは、十方無碍光如来」とは、十方

人御影を、右脇壇(向かって左)に先師御影、または蓮如上人御影を安置するという形式を、お仏壇に当てはめたものです。

名号の場合は、向かって右側に「帰命尽十方無碍光如来」の十字名号、左側に「南無不可思議光如来」の九字名号をお掛けします。

これらの名号はいずれも「南無阿彌陀仏」の働きを具体的に表してくださっているものです。「帰命尽十方無碍光如来」とは、十方

章が押されています。ご本尊と同様、本山正式の脇掛をお迎えしましょう(松本教智・御同朋の社会をめぐす運動)和歌山教区委員長

脇掛は、ご門主の御染筆の写しで作製されており、昨年6月6日にご門主が代わられてからは、絵像の裏書に「本願寺寺務専如」と記され、御印章が押されています。名号も第25代専如門主の御染筆が用いられ、名号の脇に「専如」の御印章が押されています。

本願寺法物調進所・絵表所において、絵像は一幅ずつ手描きで作製され、名号の脇掛は、ご門主の御染筆の写しで作製されており、昨年6月6日にご門主が代わられてからは、絵像の裏書に「本願寺寺務専如」と記され、御印章が押されています。名号も第25代専如門主の御染筆が用いられ、名号の脇に「専如」の御印章が押されています。

如来を南無します、心から信じ敬いますとの意味です。名号をお掛けする形は、本山・西本願寺の宗祖親鸞聖人の御真影を安置する御影堂の、左余間に十字尊号を、右余間に九字尊号を奉懸する形式によっているとの説もあります。

なお、絵像のご本尊に名号の脇掛をお掛けしたお仏壇もよく拝見しますが、これも間違いではありません。

脇掛もご本尊と同様に、

# 新 祖蹟点描

## ⑤ 比叡山 根本中堂

親鸞聖人は、数え年9歳で出家して仏門に入られた。当時、僧になるためには入室・出家・受戒という三段階を経るのが通例だったという。

入室とは、師僧(師匠となる僧)の坊に弟子入りし、師僧に仕えながら親しく教えを受けること。このときはまだ俗人の身なりで、稚児と呼ばれる段階である。

出家とは、三宝(仏・法・僧)に帰依し、剃髪して僧形となった上で、十戒を授かり「沙弥」と呼ばれる見習僧になること。

十戒とは、不殺生・不偷盗・不淫・不妄語(うそをつかない)・不両舌(二枚舌を使わない)・不悪口・不綺語(上手に偽り飾った言葉を使わない)・不貪欲(むさぼり求めない)・不瞋恚(怒らない)・不邪見(仏教の説く因果の道理を無視した考え方をしない)の各戒で、十善戒ともいう。

そして受戒とは、具足戒(比叡山では大乘戒)を授けられて、正式な僧(比丘)になることをいう。

親鸞聖人の場合、『本願寺聖人親鸞伝』に、養父・日野範綱が慈円(慈鎮和尚)の「貴坊へあひ具したてまつりて(同行して差し上げて)、鬘髪を剃除したまひき。範宴少納言公と号す」とある。

ることから、やや異例ながら、入室と同時に髪を剃って出家されたと考えられることができる。

親鸞聖人の師僧となり、出家の戒師となった慈円は、親鸞聖人より18歳年長で、このとき27歳の少壮の僧。

慈円といえば、独自の歴史観に基づく史論書『愚管抄』で知られるが、藤原撰

# 天台宗の聖地 比叡山へ



木立のなかに静かにたたずむ根本中堂(一乗止観院)

## 最澄開いた延暦寺の総本堂

関家の出身で、のちに38歳で天台座主(比叡山延暦寺住職)という比叡山の最高職に上り詰め、生涯に4度まで座主を務めて比叡山の大立者となる人物である。

親鸞聖人の新たな生活は慈円のもとで始まり、ほどなく比叡山へと場所を移して、僧としての本格的なスタートを切ることになる。

親鸞聖人が上られる比叡山は、言うまでもなく伝教大師最澄(767~822)によって開かれた天台宗の聖地。標高848mの大比

こん ほんちゅう どう  
比叡山根本中堂

場所 滋賀県大津市坂本本町4-2-20  
電話 077(5)780001(代)

交通 京都駅でJR湖西線に乗り換え13分、「比叡山坂本」駅下車、同駅前から江若バス・ケーブル坂本線で7分、「ケーブル坂本」駅下車、坂本ケーブルに乗り換え11分、「ケーブル延暦寺」駅下車、徒歩15分。

叡岳を擁する2400mの広大な寺域に、あまたの寺院が立つ。延暦寺とは、これらの寺院の総称である。

その延暦寺の総本堂が根本中堂。本来は一乗止観院(延暦7)に創建した比叡山で最初の堂宇である。

一乗止観院の「一乗」(一つの乗り物の意)とは、天台宗がよりどころとする法華経の根幹をなす教えで、さとりを赴かせる教えは一つであることをいう。法華経によれば、お釈迦さまの真の教えはただ一つ(一乗)であり、その教えによってあらゆるものが等しく仏になることができるという。

「止観」とは、中国天台宗の祖である天台大師智顛が『摩訶止観』に説く「円頓止観」を指す。それは、

すべての存在のありのままの姿(実相)をたちどころにさとる観法であるという。つまり一乗止観院とは、法華経の教えをよりどころとして、速やかにさとりに至る道を実践するお寺と言えようか。

最澄は一乗止観院を創建した際、自ら彫った薬師如来のご本尊を奉安し、その宝前に灯明をかかげ、「明らけく、のちの仏のみ世までも 光り伝へよ法のともしび」(新拾遺和歌集)と詠んだ。その灯火は今も輝き続けているので、「不滅の法灯」と呼ばれている。

一乗止観院を根本中堂と呼ぶのは、嵯峨天皇から延暦寺の寺額を賜った823年(弘仁14)からだという。(本紙編集部)

1月9日~16日 親鸞聖人のご遺徳しのび28座の法要

# 西本願寺 御正忌報恩講

京都のご本山・西本願寺で1月9日から「御正忌報恩講」が始まる。親鸞聖人の御正忌(祥月命日)である1月16日までの7昼夜8日間に、合わせて28座の法要が厳かに勤められる西本願寺最大の恒例法要。親鸞聖人のご遺徳をしのびつつ、聖人が90年のご生涯をかけて伝えてくださった浄土真宗のみ教を、じっくりと聴聞させていただくご縁。ぜひ家族そろってのご参拝を——というわけで、御正忌報恩講の参りどころあれこれ紹介。(写真は昨年の様子—本願寺新報社提供)

## 参りどころあれこれ紹介

### 法要

御正忌報恩講は1月9日午後1時55分、専如門主が御影堂の御真影(親鸞聖人像)が安置されるお厨子の扉を開けられる御親開(非公開)で始まり、続く2時から法要がスタート。昨年6月6日にご門主になられた専如門主、前門主をまはじめ、大勢の僧侶が出勤してのお勤めのピリッとした雰囲気はご本山ならでは。お勤めの前後に奏される雅楽も、法要の荘厳な



お勤めは厳かに華やかに(1月16日満日中法要)

雰囲気を感じ上げる。

連日、日中法要と速夜法



参拝者で満堂の御影堂

要の30分前からは、御堂布教(法話)がある。

### 御親教

15日午後2時からの速夜法要に引き続き、専如門主のご親教(法話)がある。ご門主になられて初めての御正忌報恩講に、どのようなお言葉を述べられるか注目される。

### 改悔批判

9日から15日まで(13日以外)、初夜法要のお勤め



法義の綱要述べる改悔批判

に引き続き、改悔批判が行われる。

改悔批判とは、本願寺第8代蓮如上人の頃、報恩講の間、毎夜、僧侶・門徒が

改悔(法義の心得違いを悔い改めること)として、各自の領解(ご信心の味わい)を述べて、批判を仰いだことに由来する。

### 特別講演

現在は、ご門主、またはそのお手代わりが浄土真宗の法義の綱要を述べて改悔を促すと、参拝者が「領解文」を唱和して改悔に代え、それを受けて法話が続けられるという形を取っている。

今年9日にご門主、10日以降は内藤知康師(勸学)がお手代わりを務める。

### 御伝鈔拝読

13日午後3時30分からの初夜法要に引き続き、「御



親鸞聖人ご一代記を拝読

伝鈔」が拝読される。御伝鈔とは、親鸞聖人のひ孫にあたる本願寺第3代覚如上人が、聖人のご生涯を絵巻物にされた『本願寺聖人親鸞伝絵』から、詞書の部分を抜き出したもの。親鸞聖人のご一代記が古式にのった節回しで語られる。

### 通夜布教

15日午後7時からは、聞



夜通して法話聴聞する通夜布教

法要後の午前11時ごろから(10日のみ午後1時から)、1人1万円以上の懇志を込められた方を対象に、鴻の間(国宝)でお斎の接待がある。

### お斎

1汁3菜の本膳で、江戸時代からほとんど変わらぬ献立。定員は毎回180人で、今年から全席いす席。申し込み、お問い合わせは西本願寺・参拝教化部まで。電話075(371)5181。

### お斎

10日から15日まで、日中



国宝・鴻の間でお斎の接待

## 併催行事もたっぷり

御正忌報恩講の間、左記の行事も行われる。

- ◇「御絵伝」解説(聞法会館) 9日~12日午後6時15分。大型スクリーンに御絵伝(『本願寺聖人親鸞伝絵』の絵部分だけを掛軸にしたもの)を映して解説。
- ◇龍谷大学吹奏楽部演奏会(阿弥陀堂) 10日正午。



阿弥陀堂で吹奏楽の演奏も

- ◇奉讃演奏会(聞法会館) 15日午後4時。
- ◇岩手・宮城・福島3県の物産展(白州) 9日正午~午後4時、10日~15日午前9時~午後4時、16日午前9時~午後4時。

### 御正忌報恩講法要・行事日程

|         |  |   |  |
|---------|--|---|--|
| 1/9(金)  | 14:00<br>15:30<br>19:00  | 速夜法要<br>初夜法要<br>常例布教  | 大師影供作法<br>改悔批判   |
| 1/10(土) | 6:00<br>8:10<br>10:00<br>12:00<br>14:00<br>15:30<br>19:00          | 晨朝法要<br>常例布教<br>日中法要<br>龍谷大学吹奏楽部御堂演奏会<br>速夜法要<br>初夜法要<br>常例布教 | 阿弥陀経、往生礼讃偈(日没)<br>二門偈作法<br>奉讃大師作法<br>正信偈、引き続き改悔批判  |
| 1/11(日) | 6:00<br>8:10<br>10:00<br>11:10<br>14:00<br>15:30<br>19:00          | 晨朝法要<br>常例布教<br>日中法要<br>特別講演<br>速夜法要<br>初夜法要<br>常例布教          | 阿弥陀経、往生礼讃偈(初夜)<br>宗祖讃仰作法<br>深川宣暢師(勸学)<br>宗祖讃仰作法(音楽法要)<br>正信偈、引き続き改悔批判                          |
| 1/12(月) | 6:00<br>8:10<br>10:00<br>11:10<br>14:00<br>15:30<br>19:00          | 晨朝法要<br>常例布教<br>日中法要<br>特別講演<br>速夜法要<br>初夜法要<br>常例布教          | 阿弥陀経、往生礼讃偈(中夜)<br>正信念仏偈作法<br>花岡尚樹師(布教使)<br>浄土法事讃作法<br>正信偈、引き続き改悔批判                             |
| 1/13(火) | 6:00<br>8:10<br>10:00<br>11:10<br>14:00<br>15:30<br>19:00          | 晨朝法要<br>常例布教<br>日中法要<br>特別講演<br>速夜法要<br>初夜法要<br>常例布教          | 阿弥陀経、往生礼讃偈(後夜)<br>二門偈作法<br>松林行圓師(布教使)<br>宗祖讃仰作法(音楽法要)<br>正信偈、引き続き御伝鈔拝読                         |
| 1/14(水) | 6:00<br>8:10<br>10:00<br>11:10<br>14:00<br>15:30<br>19:00          | 晨朝法要<br>常例布教<br>日中法要<br>特別講演<br>速夜法要<br>初夜法要<br>常例布教          | 阿弥陀経、往生礼讃偈(晨朝)<br>宗祖讃仰作法<br>藤野堯文師(総務)<br>大師影供作法<br>引き続き御俗姓拝読<br>正信偈、引き続き改悔批判                   |
| 1/15(木) | 6:00<br>8:10<br>10:00<br>11:10<br>14:00<br>16:00<br>18:00<br>19:00 | 晨朝法要<br>常例布教<br>日中法要<br>特別講演<br>速夜法要<br>奉讃演奏会<br>初夜法要<br>通夜布教 | 阿弥陀経、往生礼讃偈(日中)<br>正信念仏偈作法<br>佐々木鴻昭師(執行長)<br>広文類作法<br>引き続き専如門主ご親教<br>正信偈、引き続き改悔批判<br>翌16日5:45まで |
| 1/16(金) | 6:00<br>10:00  | 晨朝法要<br>日中法要  | 阿弥陀経、正信偈(真譜)<br>報恩講作法  |

# 中岡順忍新教務所長が着任

去る12月1日付の人事異動で、中岡順忍師(滋賀教区野洲組西勝寺住職)が和歌山教区教務所長・本願寺鷺森別院輪番・本願寺日高別院輪番に着任した。



中岡順忍師

中岡師は1960年(昭和35)滋賀県守山市生まれの54歳。1983年に龍谷大学文学部仏教学科卒業後、

浄土真宗本願寺派宗務所に入り、25年間勤務。その後、長野教区教務所長・本願寺長野別院輪番を皮切りに、四州教区教務所長・本願寺塩屋別院輪番、東北教区教務所長・本願寺仙台別院輪番、本願寺近松別院輪番を

歴任し、このたびの和歌山着任となった。2年8カ月間在任した前任の高橋格昭師は、鹿児島教区教務所長・本願寺鹿児島別院輪番に。両教務所長の歓送迎会は、2月12日(木曜)にホテルグランヴィア和歌山で開催予定。詳細は教区内寺院などに追ってご案内する。

## 近畿同朋運動推進協議会

# 創立60周年記念大会

## 今こそ同朋運動の真価問う

各教区内で直面する差別問題に対し、研修会や啓発活動などに取り組む「同朋会」が全国に先駆けて和歌山で結成されたのは1949年(昭和24)のこと。1954年(昭和29)には、和歌山、滋賀、奈良、兵庫の4教区の同朋会を結

集して「同朋会近畿教区連絡協議会」が立ち上げられ、その後、京都、大阪両教区も合流して現在に。同連絡協議会が創立60年を迎えたのを記念する大会が去る12月3日、本願寺間法会館の3階多目的ホールで、ご門主様ご臨席のもと

開催され、近畿地区から280人が参集した。大会はまず、同朋運動に生きた先人の歩まれた道を

振り返ろうと「総物故者追悼法要」を勤修。お勤めの後はご門主のお言葉を頂き、近同推元会長の岡橋聖舟師



同朋運動を振り返り総物故者追悼法要

「近畿同朋運動推進協議会総物故者追悼法要 近畿同朋運動推進協議会創立60周年記念大会」

講が開かれた。今回は和歌山教区内各地から204人の子どもたちが集結、鷺森別院は子どもたちの元気と笑顔に包まれた。午前は、まず報恩講のお参りとして、参加した子どもたちとスタッフが声を合わせて正信念仏偈をお歌



腹話術に見入る子どもたち

る毎年恒例の「子ども報恩講」が催され、和歌山教区少年連盟が主催する

ゲームで体を動かした。お昼は、少年連盟委員と寺族婦人会員が前日から準備したカレーライスに舌鼓

## 子ども報恩講

教区少年連盟主催

(京都府相楽郡)の法話を聴聞。続けて「近同推60周年を迎え 私たちの歩む道」と題した赤松徹眞師(龍谷大学学長)の講演を聴いた。参加者らは、差別・被差別からの解放こそが真の念

仏者の歩む道であると同朋運動の真価を再確認し、御同朋の社会実現への思いを新たにしていた。大会閉会後に京都東急ホテルで開かれた祝賀会には、160人が参加した。

# 青色青光

# 青色青光

## チャリティーバザーと街頭募金で活躍

### 本派社推協和歌山教区支部

浄土真宗本願寺派社会福祉推進協議会和歌山教区支部が、活動の一環として鷺森別院報恩講でのチャリティーバザーと街頭での歳末助け合い募金を行った。

### チャリティーバザー

鷺森別院報恩講4日目の11月27日午後0時15分。恒例のチャリティーバザーがスタートすると、本堂は一気ににぎわいを見せた。



鷺森別院報恩講で大人気のバザー

この日は仏教婦人会の参拝奨励日。参拝した300人を超える女性は、真剣な表情でバザーの品を手に入れた。売り上げはこの日だけで10万9810円。

このチャリティーバザーは「長寿のお祝い」や「災害ボランティア活動支援」など社推協が実施する事業の資金調達と社会福祉活動の啓発を目的として開催。これに賛同する教区内寺院、仏教婦人会、門徒推進員などの団体委員から多数の品物が提供されている。

### 歳末助け合い街頭募金

12月8日には「歳末助け合い街頭募金」を実施。和歌山教区内の僧侶と門信徒60人が協力して、JR和歌山駅前と和歌山市駅前の2



助け合い募金呼び掛け(市駅前)

力所で募金を呼び掛けた。この活動は毎年歳末助け合い月間に実施され、24回目。この日集まった9万7914円は、社会福祉法人・読売光と愛の事業団に寄託

### 組門徒総代会・仏教壮年会合同研修会

海南組では去る10月4日、浄國寺(海南市黒江)を会場に「組門徒総代会・仏教壮年会合同研修会」を開催。海南組仏教壮年会発足2年目と同組総代会の再発足を機に、両会のさらなる充実を期し、会員の研さんを深めるために開いたもの。研修会は2部構成で、1部では正信念仏偈のお勤め

され、被災地支援事業をはじめ障害者福祉や子どもの福祉に活用される。

### 御礼

先般、当支部主催にて開催したチャリティーバザーに、ご寺院様はじめ各教化団体役員・会員様より多くの物品を提供頂きましたこと、心より御礼申し上げます。

また、当連盟の活動にご賛同いただき、当日ご協力いただきました皆様ご感謝申し上げます。

本派社推協和歌山教区支部

練習、2部では内田正祥師(四日市市)を講師に招き、「孤独死(孤立死)を考える」をテーマに話し合いを行った。56人が参加。

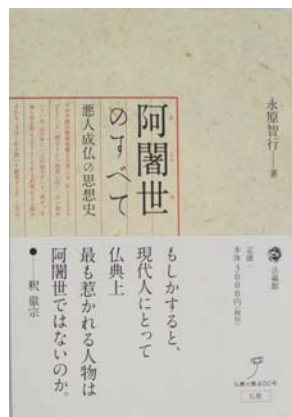
### 寺族婦人会連盟 同朋研修会開催

和歌山教区寺族婦人会連盟では10月30日、鷺森別院1階ホールで同朋研修会を開催。この研修会は、教区内の同朋運動をさらに推進するため、寺族女性として研さんを深めようと毎年開

催しているもので、今回は30人の寺族女性が参加。武田達城師(吹田市)を講師に迎え、「やらねばならぬことと差別をなくす」のテーマで研修を行い、参加者らは、自分自身が日常生活のなかでいかに差別に気付かず見逃しているかを再認識していた。

### 教区内住職が長年の研究まとめる

『阿闍世のすべて』  
—悪人成仏の思想史—  
永原智行著  
法蔵館 3,240円(税込)



お釈迦さま在世当時の古代インド・マガダ国に、父王を死に追いやり王位を奪い、母を幽閉した阿闍世という人物がいた。第一部では、この「王舎城の悲劇」として知られる阿闍世の物語が、経典など仏教文献にどのような描かれているかを丹念にたどり、第二部では、阿闍世の救済をめぐる問題を、悪人成仏の思想史として考察。特に善導大師と親鸞聖人の悪人成仏思想について詳述する。著者は和歌山教区日高組教専寺住職。龍谷大学で「エゴイズムの権化のような阿闍世」に出会い、衝撃を受けて以来の研究成果をまとめたもの。

話法  
おにしさん  
鷺森テレホン  
073-422-0243

こころの電話(海南組西光寺)  
TEL(073) 487-2430  
ヤングこころの電話(同上)  
TEL(073) 487-0404  
こころの電話(御坊組専福寺)  
TEL(0738) 44-0874

# つれもて 聴こしら

私たち真宗門徒が一年で最も大切に行っている法要が報恩講です。

報恩講とは、その漢字に示されますように、恩に報いる集いという事です。報いるという言葉を辞書で

## 坂原英見

調べてみますと、向き合うという意味もあるそうです。その意味では「ご恩に向き合う集い」とも思います。

それでは、ご恩とは一体何に對するご恩なのかと申しますと、

その中心が阿弥陀さまの本願力回向です。つまり、私たちが必ず救うと誓われた阿弥陀さまの救いの内容な

のです。

浄土真宗の救いの内容について、親鸞聖人は『教行信証』に「つつしんで浄土真宗を案するに、二種の回向あり。一つには往相、二つには還相なり」(浄土真宗聖典註釈版)1355(と示されました。

つまり、浄土真宗の救いの根本には二種の回向があると示されています。一つが往相回向、もう一つが還相回向です。



させていただくあり方という事です。

ですが、もしこの世の命を終えた後だけ救い取るというのであれば、黙って救えばいいのではないのでしょうか？ 私たちが生きている間に何をしようが放っておけばいいのです。

しかし、例えば親の心を考えるとどうでしょうか。

生を苦しみから救うために、み教えを示されたのです。

私たちが命を終えてから救われていくだけではなく、同時に今も救われていく。これが往相回向と還相回向なのではないでしょうか。

それでは、阿弥陀さまはどのようにして今の私たちを救ってくださるのでしょ

# ご恩に向き合い 今救われていく

それでは、まず往相回向とは一体どういうことかと申しますと、私たちが命を終えた後、お浄土に生まれ

今、子ども悩んでいたなら、必ず今救わずにはいられないはずです。ですから阿弥陀さまは、今の私たちの人

まず一つ目に、阿弥陀さまは私たちに、仏の願いを聴かせてくださいます。そして二つ目に、私たちに

願いを聴き手を合わせる人生を与えてくださいます。そして三つ目に、私たちとともに生きてくださいます。よくよく考えてみますと、私たちが生きている間から阿弥陀さまのお救いの中にいるというのは本当に有り難いことです。

南無阿弥陀仏のお念仏は

阿弥陀さまの身をよめるような願いのすがたであります。そして、そのことを聴聞して、しっかりと生きる事が、まさに阿弥陀さまのご恩に向き合うという報恩講の大切なご縁なのです。(三次市作木町・東光坊) 11月24日から28日の鷲森別院報恩講の法話から

## 鷲森別院の催し

### ■元旦会

1月1日、元旦会をお勤めする。午前7時から本堂で正信念仏偈・和讃六首引をお勤め。引き続き1階書院で讀仏偈をお勤めしたあと、中商順忍輪番の年頭法話。その後、お供えしたお酒を頂くご流盃の儀があり、お酒、お茶、おつまみが振る舞われる。

### ■春季彼岸会

3月20日から22日の3日間、恒例の春季彼岸会を本堂でお勤めする。午後1時30分から、日替わりで無量寿経、観無量寿経、阿弥陀経をお勤め。2時ごろから

### ■常例法座

1月15、16日、那須智雄師(福山市金江町・大東坊)。2月15、16日、枝廣大智師(福山市東川口町・崇興寺)。3月15、16日、伊川大慶師(三次市十日市中・西覚寺)。毎座、午後1時30分から3時30分。

### ■子ども会

1月24日、2月14日の午前10時から子ども会を開く。1月は新年のお茶会。

### ■第11回孫市まつり

3月28日、鷲森別院と周辺を会場に、孫市の会が主催する恒例の「孫市まつり」が開催される。午前11時から午後4時(予定)。

# 響流十方

## 1~3月の催し

### 本山

1月1日 修正会(元旦会)  
 1月8日 大御身(親鸞聖人御影像のお身拭い)  
 1月9~16日 御正忌報恩講

1月11日 63回本山成人式  
 2月7日 如月忌  
 3月18~24日 春季彼岸会

### 和歌山教区

1月15日 門徒推進員団法の集い(鷺森別院)  
 1月18日 門徒総代会剪定奉仕(鷺森別院)

1月27~29日 寺族婦人会連盟研修旅行(沖繩県)  
 2月8日 連研修了者研修

会(鷺森別院)  
 2月10日 少年連盟委員会(鷺森別院)  
 2月12日 鷺森別院輪番・和歌山教務所長歓迎会(ホテルグランヴィア和歌山)

2月15日 門徒推進員団法の集い(鷺森別院)  
 2月19日 布教団連続法座(鷺森別院)  
 3月10日 近同推寺婦研修会(本願寺)  
 3月11~12日 門徒総代会念仏奉仕団(本願寺)  
 3月13、14日 和歌山教区得度習礼講習会(鷺森別院)  
 3月15日 門徒推進員団法の集い(鷺森別院)

### 教区内各組

**和歌山組**  
 1月24日 第6期連続研修

会⑤(鷺森別院)  
 3月5、6日 和歌山組念仏奉仕団(本願寺)  
 3月7日 第6期連続研修会⑥(鷺森別院)

### 和歌山東組

2月21日 第5期連続研修会⑫(鷺森別院)

### 和歌山西組

1月11日 第15期連続研修会⑪(安楽寺)  
 1月22日 寺族婦人会例会・新年懇親会(和歌山マリーナシティホテル)  
 2月1日 組内会(法専寺)  
 2月未定 仏教婦人会連盟役員会(松専寺)  
 2月未定 門徒総代会・仏教壮年会合同研修会(万福寺)

3月1日 第15期連続研修会⑬・修了式(法専寺)  
 3月未定 「御同朋の社会をめぐす運動」(実践運動)推進協議会(万福寺)

### 和歌山北組

1月25日 第4回組内会(慶円寺)

2月14日 「御同朋の社会をめぐす運動」(実践運動)推進協議会(善教寺)  
 3月5~6日 組念仏奉仕団(本願寺)  
 3月28日 第11期連続研修会⑩(本願寺)

### 加茂組

2月15日 加茂組キッズサンガ(正光寺)  
 3月未定 仏教婦人会研修会(正光寺)

2月22日 門徒総代会「組活動推進事業」研修会(浄國寺)

### 海南組

2月14日 僧侶・寺族婦人合同研修会(報徳寺)  
 3月5~6日 第3回海草組念仏奉仕団(本願寺)

### 海草組

2月未定 仏教壮年会研修会(西照寺)

### 伊那組

2月未定 仏教婦人会連盟役員会(明光寺)  
 3月2日 組小委員会(橋本・極楽寺)

本・極楽寺)  
 3月9日 第3回組内会(橋本・極楽寺)

### 有賀組

2月1日 「御同朋の社会をめぐす運動」(実践運動)推進協議会(大光寺)  
 3月1日 組門徒総代会(願成寺)

2月8日 仏教婦人会初会(宝林寺)  
 2月12日 第8期連続研修会⑩(福蔵寺)  
 2月14日 キッズサンガ(円光寺)  
 3月12日 第8期連続研修会⑪(円光寺)  
 3月26日 第8期連続研修会⑫(称念寺)

### 有田南組

2月未定 仏教婦人会連盟役員会(会場未定)  
 2月28日 仏教婦人会連盟新旧役員会(会場未定)  
 3月3日 寺族婦人会報恩講・総会(浄明寺)  
 3月31日 仏教婦人会連盟会計監査(会場未定)  
 3月未定 「御同朋の社会をめぐす運動」(実践運動)推進協議会(会場未定)  
 3月未定 組会(会場未定)

2月未定 仏教壮年会活性化をめぐす研修会(会場未定)

### 有田北組

3月14日 第7期連続研修会⑥(日高別院)

### 日高組

2月2日 日高組報「ひかり」編集会議(信行寺)

2月7日 第9期連続研修会①(円行寺)  
 2月20日 仏教婦人会連盟役員会(会場未定)  
 2月28日 仏教婦人会連盟

### 御坊組

1月7日 第7期連続研修会⑤(日高別院)  
 2月21日 「御同朋の社会をめぐす運動」(実践運動)推進研修協議会(日高別院)

3月14日 第7期連続研修会⑥(日高別院)  
 3月28日 組協議会(日高別院)

### 紀南組

期日未定 実践運動推進僧侶研修会(会場未定)



有田北組 11/9 26人 西光寺



ぽっぽみちを歩こうII

今秋2組が開催



家族揃って お寺にお参り

海草組

10/18 40人 真宗寺

報恩講

このコーナーでは、各組・寺院で取り組まれているキッズサンガを紹介させていただきます。ぜひ写真、資料を和歌山教区教務所宛に送付ください。なお、紙面の都合上掲載できないこともございますのであらかじめご了承ください。



安芸教区災害義援金

昨年8月19日夜から20日未明に広島市内で発生した豪雨は、多くの犠牲者と甚大な被害をもたらした。安芸教区では、現在も継続して災害義援金を募っている。送金先などの詳細は下記の通り。

【名称】 広島市8・20豪雨災害義援金
【受付口座】 郵便振替 01310-8-25003
【加入者名】 安芸教区災害対策委員会

【受付期間】 2014(平成26)年8月22日から当月の間
【問い合わせ先】 浄土真宗本願寺派安芸教区教務所・災害対策委員会 〒730-0801 広島市中区寺町1番19号 電話 082(231)9052 FAX082(292)1186

得度

- 9月 和本賢一(海南組西法寺)
10月 菅原正遵(日高組専福寺)
伊藤淳子(御坊組安楽寺)
11月 佐久間知子(和歌山東組玄妙寺)
中西二天(加茂組遍照寺)

教師

- 9月 得中茂(和歌山組称名寺)
12月 川口和子(有田北組浄應寺)
敬弔 9/11月 和田秀教(和歌山北組正光寺・衆徒) 9月10日

▽津本宗禎(御坊組天性寺・前住職) 9月25日
▽小山文字(海草組極楽寺・衆徒) 10月3日
▽小島義晴(加茂組光輪寺・前々住職) 10月13日
◎生前のご活躍ご尽力に感謝申し上げ、謹んで敬弔の意を表します。

日高別院の催し

■元旦会 1月1日午前0時30分ごろ(除夜の鐘終了後)から新年最初のお勤めである元旦会を本堂で。
■常例法座 1月20日、常例法座が開かれる。午後

1時30分から正信念仏偈(行譜)をお勤め、引き続き午後3時ごろまで、那須智雄師(福山市金江町・大東坊)の法話を聴聞する。
■春季彼岸会・御坊市日高郡戦傷病没者追悼法要 3月23日、午後1時30分

から春季彼岸会が勤修される。法話は中岡順忍師(本願寺日高別院輪番)。
なお、この法要にあわせ、御坊市日高郡戦傷病没者追悼法要が勤修される。(本願寺日高別院 御坊市御坊100)